月一だより

中央区立月島第一小学校
令和元年１２月 NO.４５４

「One team 学芸会！」何を学ぶ？

副校長　中嶋　友晴

子供たちには大きな行事のたびに「この行事を通して何を学ぶか？」と以前担任だったとき、よく問い掛けていました。どの行事にも楽しいこともあれば、真剣に取り組み、努力をしなければならないものもあります。

学芸会は学年の発達段階に応じた脚本をもとに、表現活動を学年全体で行うものです。台詞や歌、合奏など様々な表現活動を行い、今年の学芸会でも生き生きとした表情をたくさん観ることができて、大成功のうちに終えることができました。子供たちはそれぞれ、自分に任された役割を練習して、当日を迎えました。出番が多い少ないや、台詞の数にかかわらず、「一人一人全員が主役」という意識をもちました。

子供たちは「演じる」ことで疑似体験し、想像すると同時に自らのこととして学ぶことができるのではないでしょうか。劇活動は個々の役や劇世界になりきって「演じる」ことによって、物語に対するより深い読みを促し、子供たちの想像力を育成させると言う専門家もいます。

低学年は、皆元気で生き生きと大きな声で台詞を言っていて、本当に可愛らしくやれました。台詞の言い回しも工夫していることがよく伝わってきました。

中学年の劇は、躍動的で、話の内容が子供たちに合っていてとても楽しく観ることができました。衣装や小道具、大道具もとても工夫されていました。

高学年の劇はさすがに主体性が高く、自分たちで照明をやり、道具をつくり、演技をし、何度も話し合って、台詞の言い方を工夫していることがよくわかる劇でした。

座学では味わえない大きな「学び」を児童全員で獲得することができた素敵な時間を過ごすことができたと思います。

保護者の皆様には御鑑賞いただき、たくさんの拍手と励ましをいただきました。衣装をはじめとする御準備、当日のお手伝いなど様々な面から御協力いただきました。おかげさまで素晴らしい学芸会になりました。ありがとうございました。

１２月の生活目標	みんなで協力して学校をきれいにしましょう。

セカンドスクールについて

第４学年担任　飯川　明代

11 月 13 日から 15 日の３日間、４年生は、初めての宿泊学習「セカンドスクール」に行ってきました。秋の柏学園はとても美しかったです。子供たちは、この学園で様々なことを学びました。

①５分前に集合して静かに待つこと。
②相手の言動を受け止めること。
③自分の不安や困難にうち勝つこと。

どれも、これからの人生に役立つことばかりです。友達とけんかをしたり、家が恋しくて泣いてしまったりすることもありました。みんなでつくったカレーライスは、どの班も１００点満点の出来でした。夜に「お化けが出た！」と大騒ぎしたこともよい思い出です。友達と助け合う姿もたくさん見られ、本当にうれしく思っています。この３日間の経験は子供たちにとってかけがえのないものとなったことでしょう。

この宿泊学習では、事前準備をしてくださったおうちの方をはじめ、たくさんの方にお世話になりました。感謝の気持ちを忘れずに、日常生活でも学んだことを生かして、がんばってほしいと思います。

振り返りと新しい学校へ

教務主任　武内　伸輔

今年は５月に新しい元号になり平成の時代を振り返り、令和に期待するテレビ番組が多くありました。

学校では、保護者や児童の意見を今後の教育活動に生かすため、４月からの学校の活動を振り返っていただく「学校評価アンケート」を配布しています。

その意見を参考に学校も毎年、少しずつ変化を加えながら社会の変化や、子供たちの状況に対応できるようにしています。

今年度は昨年度の保護者アンケートで評価の低かった「ボランティア活動や清掃活動などの奉仕活動の参観」について見直しを行い、地域清掃を土曜授業に全学年で行うこととしました。たくさんの保護者、地域の方にも参加していただき、子供たちは「地域の一員として町を守っていこう」と感じることが出来たようです。

また、基礎学力の定着では、学習に向かう意欲が高まるよう、生活時程の見直しをして放課後学習「スタディー月一」を週３回行うようにしました。たくさんの保護者の方の御意見をいただき、来年度の教育計画を立てる際の参考にして行きますので　ご協力をお願いします。**（アンケートは１２／２に配布し、締め切りは１２／１３です。）**